



羽島中学校だより

いちき串木野市立羽島中学校

令和7年6月発行

「教育を残すこと、それが後世に伝えるべき唯一の富である」

校長 高田 百香里

「教育を残すこと、それが後世に伝えるべき唯一の富である」これは、先月5月13日にその訃報が世界中で大きく報道された、ウルグアイ第40代大統領のホセ・ムヒカさんのことばです。

彼は「世界で一番貧しい大統領」という愛称で知られていました。大統領としての月給112万円の9割を国の貧困層の人たちへ寄付し、自分は毎月11万円くらいで生活していました。公邸に住まず、農場近くの自分の自宅に奥さんと二人で住み、農場を耕作しながら生活していました。車は友達にもらった古いフォルクスワーゲンの水色のビートル(18万円相当)でした。彼が乗っていることで有名になり、付加価値がついたのでしょうか、あるときアラブの大富豪から「あなたの車を1億1500万円で譲ってほしい」といわれたのですが、ムヒカ大統領はこう言いました。「あなたにこの車を譲ることはできません。なぜなら、この車は友人からもらったものだから、あなたに売ればその友人を傷つけることになるからです。」彼の生活は、家も質素で物も少なく、車も古いものでした。「大統領」という世間一般のイメージからはかけ離れたものであるともいえます。しかし、「貧しい人」ということについて彼はこう言っています。「貧しい人とは、少ししか持っていない人ではなく、いくらあっても満足できない人のことだ。」

ムヒカ大統領は、贅沢なものは何も持たない生活ぶりでしたが、彼はそれを「不便」と感じることはなく、「自由である」と表現しました。ムヒカ大統領にとっての自由とは「欲望に支配されないこと」だったのです。そして、「時間に追われ、地球上の自然を破壊し、孤独に生きる現代人」である私たちに対して、彼はこう問いかけています。「本当に幸せですか?」。「人生の豊かさとは、大切な人との関係、自然の恵みを感じることにあり、そして自分自身と向き合う余裕ある時間にある」ということ、物では満たされない「内面の豊かさ」こそが現代人(わたしたち)に必要なというメッセージを伝え続けていました。その彼が、これから生きる「現代の若者たち」へ贈ったメッセージが「情熱という自分の人生に満足感を与えるもののために生きることの大切さ」、「挑戦すること」そして「スポーツでも、絵でも、文章を書くことでもなんでもいい。これだということを何かひとつ持つこと」を勧めています。(日頃から生徒たちに話していることと重なっており、嬉しく思いました。)

そのムヒカ大統領の言葉が前述した「教育を残すこと、それが後世に伝えるべき唯一の富である」なのです。6月の全校朝会で生徒たちに、ムヒカ大統領の話をしました。話をしながら、この方が世界に伝えた高い精神性(スピリット)の素晴らしさに改めて深く感じ入ることでした。ムヒカ大統領の言われた「教育の大切さ」、子どもたちのこれからの人生に教育が与える影響。その責任の重みを胸に、今後も教育活動に取り組むことを改めて肝に銘じているところです。

串木野高校卒業生講演会

6月4日(水)、串木野高校卒業生講演会をオンラインで実施しました。

講師は2名で、本校卒業生の〇〇さんも参加しました。高校生活や進路選択、現在の活動についての体験談に、生徒たちは熱心に耳を傾け、将来への意識を高めていました。



芸術鑑賞教室

6月14日(土)、芸術鑑賞教室を実施しました。今年は「薩摩川内おどり太鼓」の皆さんをお招きしました。勇壮な太鼓の演奏に加え、躍動感あふれる踊りや息の合った迫力あるパフォーマンスに、芸術のもつ力を改めて実感する時間となりました。



青空給食、シャッフル給食

本校では、普段は各学級で給食を行っていますが、「他学年の生徒や先生と交流したい」という要望を受け、生徒会が主体となって「青空給食」や「シャッフル給食」を実施しています。青空給食では、学年を超えたグループで輪になって座り、給食を囲みながら趣味や部活動の話で盛り上がるなど、和やかな雰囲気の中で交流が生まれました。

シャッフル給食では、生徒と先生がランダムに教室に分かれ、普段関わらない人とも会話が生まれるよう工夫されています。交流を通して、つながりや自尊心の向上が期待されます。



高校説明会!!進路選択に向けて

6月6日(金)、高校説明会を実施し、6校の特色ある説明を聞きました。生徒たちは関心を持って参加していました。11月には三者面談があり、進路を決定します。昨年度から「自己推薦」制度が新たに導入されています。今後も積極的に情報を集め、体験入学等の内容を参考に、家庭で進路を話し合ってください。



薩摩藩英国留学生渡欧160周年記念黎明祭

6月8日(日)、「薩摩藩英国留学生渡欧160周年記念黎明祭」が開催され、本校生徒が参加しました。今から160年前、薩摩藩の留学生を中心とした若者19名が羽島の地からイギリスへと旅立ち、日本の近代化に大きな足跡を残しました。その偉業を称え、後世に伝えるため、毎年、記念行事が行われています。今年はその渡欧から160年という節目の年にあたり、例年にも増して盛大に行われました。

当日は、羽島小中学校の児童生徒が、留学生になりきって発表を行いました。また、地元ゆかりの方々によるリレートークには、中学校3年生の〇〇さん、〇〇さんの2名が参加し、登壇者と薩摩藩英国留学生について意見交換を行いました。

生徒からは「自分も新しいことに挑戦したい」「郷土の歴史をもっと知りたい」といった感想が寄せられました。今回の黎明祭を通して、地域の歴史や人々の思いを受け継ぎ、これからの自分たちの成長につなげてほしいと思います。今後も本校では、郷土の歴史や文化に触れる機会を大切にしていきたいと思います。



受賞等

- 地区総体 陸上競技の部
男子共通110mハードル 3位
女子低学年80mハードル 2位、3位
- 地区総体 ソフトテニス競技の部
男子個人:準優勝

★おめでとう★



7月の主な行事予定

☆ 変更になる場合もあります。

日	曜	行 事	日	曜	行 事
2	水	宿泊学習(1年)~3日 SOSの出し方教室(2・3年)	15	火	食に関する指導(1年) 授業参観,学級PTA,学校保健委員会
4	金	移動図書巡回	16	水	性に関する指導(3年)
11	金	地区研究協力校授業公開(午前授業)	18	金	運動会全体練習①(結団式)
12	土	土曜授業、災害時引き渡し訓練(小中合同) 保護者挨拶運動(3年)	19	土	1学期終業式 夏季休業 ~8月31日